

責任者	国際学研究科委員長	作成部局	国際学研究科
-----	-----------	------	--------

2021年度に向けた教育研究目標

【A票:教育研究目標1】									
(タイトル) 国際学研究科の継続的発展									
(狙い内容) 前期課程において毎年度安定した数の入学者を受け修了者を輩出し、グローバルに活動する企業または国際機関に高度専門職として就職させる。									
1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)									
前期課程は毎年度安定した数の学生が入学し、できるだけ2年間で修了する。									
<変更時記入欄>									
<変更理由記入欄:2021年度のめざす姿(目標)を変更した場合、その理由を記入>									
2. 達成度評価									
評価指標	毎年度の前期課程入学者と修了者の数						評価尺度	A:6名以上の入学者と修了者 B:3名以上の入学者と修了者 C:1名以上の入学者と修了者 D:入学者と修了者がゼロ	変更有無
	<変更時記入欄> ※上記の評価指標を変更する場合は、こちらに変更内容をご記入ください。							<変更時記入欄> A: B: C: D:	有(無)
3. 年度毎の目標値									
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	変更有無
2015年度 (計画策定時)		C 入学者2名、 修了者2名。	C 入学者2名、 修了者2名の予定。	C 入学者4名、 修了者2名。	B 入学者4名、 修了者4名。	B 入学者6名、 修了者4名。	A 入学者6名、 修了者6名。	A 入学者6名、 修了者6名。	有(無)
2016年度 進捗状況 & 今後の 目標値	評価 尺度: A~D	<実績> C	見込み	<2016年度末時点の 見込み又は実績又は目標> C					
	見込・ 実績・ 目標 (値又は 状況)	<実績> 入学者2名、 修了者2名。		<2016年度末時点の 見込み又は実績又は目標> 入学者2名、 修了者2名。					
【2016年度の進捗状況について】 ←									
年度ごとの目標値に沿って進んでいる。修了者についても順調に達成できる見込みである。									
<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>									

2016年度の取組み状況の確認

2016年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか？	→	はい・いいえ
<上記で「いいえ」を選んだ場合>		
①理由:		
②今後必要な取組み:		

<評価専門委員会・第三者評価結果> 2017年1月27日公示

- ・教育研究目標は具体的であり、6年後のめざす姿も妥当で適切です。(B)
- ・教育研究目標1における2. 達成度評価の評価尺度A、B、Cの表記方法について、それぞれA:入学者と修了者が各6名以上、B:入学者と修了者が各3名以上、C:入学者と修了者が各1名以上とした方がよいのではないのでしょうか。理由:元の表記のままであれば、例えば、Aの6名が入学者と修了者の合計数なのか、入学者と修了者のそれぞれに求められている数なのかははっきりしない。(C)
- ・「グローバルに活動する企業または国際機関に高度専門職として就職」しているかどうかについての検証が求められます。(D)
- ・前期課程の入学者と修了者数は順調に推移しています。(E)
- ・目標設定どおり進捗していることが分かります。(G)

【A票:教育研究目標2】

(タイトル)

国際的課題に取り組む研究者の育成

(狙い内容)

前期課程修了者で海外の博士課程に進学した学生、または本研究科後期課程修了者の中から大学・研究機関・行政機関・企業で調査研究職として活躍する人材を輩出する。

1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)

後期課程からも学位取得者(または前期課程修了後に海外の博士課程に進学して修了したものを)を輩出し、大学・研究機関・行政機関・企業において調査研究職に就かせる。

<変更時記入欄>

<変更理由記入欄:2021年度のめざす姿(目標)を変更した場合、その理由を記入>

2. 達成度評価

評価指標	毎年度の後期課程入学者と修了者の数	評価尺度	A:後期課程修了者が調査研究職として就職した。 B:後期課程修了者は出たが研究者として就職しなかった。 C:後期課程修了者が出なかつた。 D:後期課程在籍者がいなかった。	変更有無 有・無
	<変更時記入欄>		<変更時記入欄> A: B: C: D:	

3. 年度毎の目標値

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	変更有無
2015年度 (計画策定時)		C 入学者1名。(社会人学生なので研究者でなく海外業務を担当する大学職員という高度専門職に就く予定)	C 進学者1名。	B 入学者1名、 修了者1名。	B 入学者1名、 修了者1名。	B 入学者2名、 修了者1名。	B 入学者2名、 修了者1名。	A 入学者2名、 修了者2名。 (後期課程修了者から調査研究職への就職者を輩出する)	有・無
2016年度 進捗状況 & 今後の 目標値	評価 尺度: A~D	<実績> C	実績	<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> C					
	見込・ 実績・ 目標 (値又は 状況)	<実績> 在籍者D1に1名のみ		<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> 在籍者 D1,D2 各1名					

【2016年度の進捗状況について】

年度ごとの目標値に沿って進んでいる。

<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>

2016年度の取組み状況の確認

2016年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか？

→ はい・いいえ

<上記で「いいえ」を選んだ場合>

①理由:

②今後必要な取組み:

<評価専門委員会・第三者評価結果> 2017年1月27日公示

- ・ 6年後のめざす姿の内容がやや抑制的過ぎるようにも思われますが、全体として適切です。(B)
- ・ 後期課程の入学者と修了者数は順調に推移しています。(E)
- ・ 目標設定どおり進捗していることが分かります。(G)